

西市高校生が豊田梨の作業を体験

西市高校の生徒が豊田梨の管理作業を体験！

分類：新着ニュース, 農業

登録日：平成 28 年 6 月 10 日 | 下関農林事務所農業部

山口県立西市高等学校生産流通科の生徒(79名)が、平成28年6月6日、8日、10日に、地元の豊田梨共同出荷組合員の園地でナシの袋かけ作業を体験しました。

この取組は、豊田町の特産品である梨の栽培農家に出向き、農繁期の作業を手伝いながら、農産物の栽培管理などの技術や知識を直接学び、地域農業への理解を深めることを目的に行われました。

生徒が園地で作業をする前に、下関農林事務所農業部の職員が下関市内の果樹生産の現状やナシの管理作業の授業を行い、体験する作業の意味を理解できるように支援しました。

作業を体験した生徒からは「果物の栽培にとっても興味をもった。いろんなことを一生懸命学んでいきたい」といった感想が寄せられました。

このような農作業体験などの取組みを通して、農業を身近に感じてもらい、職業感を醸成することで、将来の農業の担い手の掘り起しにつながることを期待しています。

(下関農林事務所農業部 大島尚恵)



ナシに袋をかける生徒たち

問合せ先

メール：a171071@pref.yamaguchi.lg.jp 電話：0837-66-1206